

平成30年度岐阜県大会

生徒講評文

8月	3日	3校目	池田 高等学校
トワイライト			(既成・ 創作)
<p>この劇のテーマは、「繰り返し」と「信頼」だと感じた。</p> <p>演劇部の合宿において、3年生は引退し2年生へと代が引き継がれる。題名の「トワイライト」は陽が沈んだ後の薄い光のことであり、3年生を沈んだ陽、2年生を薄い光に例えることにより、「世代交代は繰り返される」ということが表現されていた。「自分を信じられないときは、仲間を信じる」という台詞から、「信頼」の大切さも描いていると感じた。</p> <p>合宿の場面が現実なのか、またはさくらの脚本の世界なのかについては意見が分かれたが、いずれにしても、演劇部というものの特性が心を込めて表されていた。キャストは、キャラクターが個性的で、人間関係がとても伝わりやすかった。台詞や演技の間の取り方で登場人物の心情を読み取ることができた。多くのキャストが登場した時も1人1人の立ち位置が少しずつずれて並び、全員の表情が見やすくなっていて「見せる劇」ができていたと思う。</p> <p>装置は、箱のような舞台装置を椅子にしたり、ステージのように上に乗って使ったりして、同じ装置で別のものとして使う工夫がされていた。</p> <p>音響は、キャストとうまく連携していた。音の種類が多く、見ている飽きない工夫がされているように感じた。</p> <p>照明は、場面に応じて的確に使われていた。街灯を表現している照明を左右交互に光らせることによって道を歩いているように見せたり、単サスを街灯のように見せたりしたのが印象的だった。</p> <p>私たち演劇部は、仲間を信頼し、協力していくことで良い演劇ができるのだと改めて感じさせる劇だった。</p> <p>池田高校の皆さん。お疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">大垣桜高校 清水綾花 牧瑞花</p>			

